

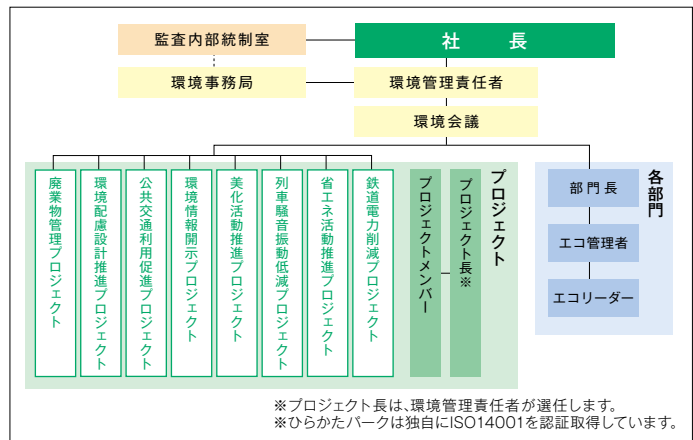
ISO14001に基づく運用

平成16年3月に会社全体で「ISO14001」を認証取得しました。当社と京阪電気鉄道㈱の環境マネジメントシステム(京阪EMS)は、ISO14001の要求事項に適合した環境管理規程で定められており、社長のもとに環境管理責任者を設置し、各部門長から構成される環境会議を開催することで全体の統括を行っています。

また、環境管理責任者は、複数の部門で横断的に取り組むべき事項についてはプロジェクトを設置し、環境負荷低減の取り組みを推進しています。

※平成28年4月の持株会社体制移行に伴い、当社と京阪電気鉄道㈱の合同運用に見直しました。

◆環境マネジメント体制図(平成29年7月現在)



環境教育

「教育訓練実施項目一覧表」を作成し、環境教育を実施しています。環境法規制に関する知識の習得や京阪EMSの概要、当社の環境に関する取り組み内容などを訓練しています。

◆教育実績表(平成28年度)

項目	受講人数
エコリーダー研修	33人
環境法規制セミナー	49人
新入社員への研修	42人
新任管理職・係長への研修	42人

内部環境監査

9月から11月にかけて、監査内部統制室に所属するISO14001審査員補の資格を持つ監査員が内部環境監査を実施しています。なお、監査結果は環境事務局から各部門に水平展開され環境活動に活かしています。

環境負担削減の目標・実績

当社と京阪電気鉄道㈱は、単年度ごとに環境に影響を与える活動、サービスを再点検した上で環境目的・目標を設定し、環境負荷低減の取り組みを行っています。

平成28年度目標と実績

🟢🟢🟢 目標達成。さらに環境負荷低減に大きく貢献 🟢🟢 目標達成 🟡 目標未達成

取り組みテーマ	環境目的	平成28年度目標	平成28年度実績	評価
地球温暖化防止	鉄道電力の削減	総合原単位 対平成27年度比1%削減	対平成27年度比3.55%増加	🟡
	省エネ活動の推進	原単位削減率:平成27年度比0.1%削減	平成27年度比3.70%削減	🟢🟢🟢
	公共交通利用促進	サイクル&ライド駐輪場1カ所新設又は増設	サイクル&ライド駐輪場5カ所新設 1カ所増設	🟢🟢🟢
騒音・振動の低減	列車の騒音振動低減	・分岐器改良8カ所 ・道床交換600単m(京阪線)、60単m(大津線) ・自動張力調整装置化1,000m ・パンタグラフ舟体CFRP化23両 ・主電動機の低騒音化11両 ・補助電源装置SIV化9両 ・散水装置改修1カ所 ・列車騒音振動定点観測12回	・分岐器改良8カ所 ・道床交換596単m(京阪線)、140単m(大津線) ・自動張力調整装置化1,000m ・パンタグラフ舟体CFRP化23両 ・主電動機の低騒音化11両 ・補助電源装置SIV化9両 ・散水装置改修3カ所 ・列車騒音振動定点観測12回	🟢🟢
		環境コミュニケーション	情報開示の推進 ・「CORPORATE REPORT 2016」の発行 ・CSR情報の社外へ年6回発信	・「CORPORATE REPORT 2016」の発行 ・CSR情報の社外へ年6回発信
環境コミュニケーション	美化活動の推進	各エリア独自で年2回以上の清掃活動および行政等主催活動への積極的参加。目標回数は12回。	各エリアで年2回以上実施(全体では15回)	🟢🟢🟢

平成29年度目標

取り組みテーマ	環境目的	平成29年度目標
地球温暖化防止	鉄道電力の削減	総合原単位 対平成28年度比1%削減
	省エネ活動の推進	原単位削減率:平成28年度比1%削減
	公共交通利用促進	サイクル&ライド駐輪場5カ所新設又は増設
騒音・振動の低減	列車の騒音振動低減	・分岐器改良11カ所 ・ロングレール化339単m ・道床交換890単m(京阪線)、85単m(大津線) ・パンタグラフ舟体CFRP化12両 ・列車騒音振動定点観測12回
		環境コミュニケーション
環境コミュニケーション	美化活動の推進	各エリア独自で年2回以上の清掃活動および行政等主催活動への積極的参加。目標回数は12回。

平成28年度の実績について

省エネ活動の推進や公共交通利用促進が目標を大きく上回る達成状況となった反面、最大の環境負荷である鉄道電力の削減については、さまざまな取り組みを実施しましたが、猛暑の影響等により、目標の総合原単位の平成27年度比1%削減を達成することができませんでした。

平成29年度も、目標達成に向け、当社と京阪電気鉄道㈱が一体となり、努力を重ねてまいります。